

第5期高知市地域アクションプランの 修正（予定項目）

高 知 市 地 域 本 部
令和6年10月29日（火）

高知市地域アクションプランの修正(予定項目)

■拡充・修正

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 3 有機農作物による土佐山地域の振興 【実施主体】(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家	【修正】 アクションプラン名の「有機農作物」について、表記を統一するため、「有機農産物」に修正する。
2	No. 5 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承(高知市) 【実施主体】JA 高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)、加工組織なるクラブ	【拡充・修正】 現状の取り組みに沿った内容とするため、R9 目標を上方修正するとともに、事業概要に取り組みを追加する。

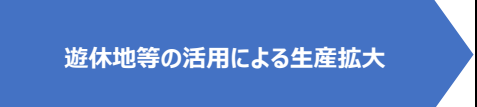
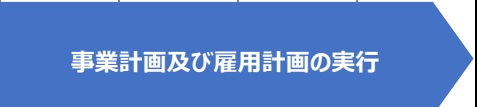
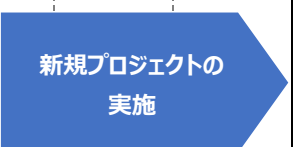
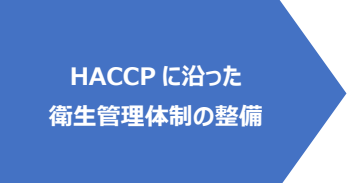
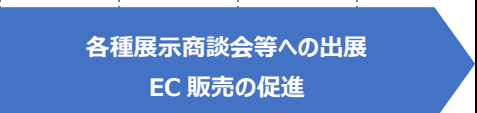
修正項目(案)

修正前

高知市地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.3 有機農作物による土佐山地域の振興 (高知市)		
実施主体	◎(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家		
AP への位置づけ	H21.4月		
事業概要	土佐山を今後 100 年にわたり豊かに継続させる「土佐山百年構想」に基づき、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機野菜などの生産と販売及び加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の振興を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大	・栽培技術の確立・普及活動（H21～） ・加工品の開発・販売（H21～） ・ショウガの有機 JAS 認証取得（H21） ・有機農産物、農薬を使用しない農産物（ユズ・ショウガ・ジャガイモ等）の生産販売（H21～） ・肥料を製造する土づくりセンターの増強整備（H24）	【成果】 ・土づくり部門の売上高増 R2：13,942 千円 →R4：14,899 千円 ・雇用の創出 H20:11 人 （正規 3 人、パート 8 人） →R4：39 人 （正規 13 人、パート 21 人、短期雇用 5 人）
農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化	・庭先集荷による集荷販売（H21～） ・中山間農業複合経営拠点事業戦略の策定（H29） ・アグリ事業戦略サポートセンターによる実行フォロー（R 元） ・公社全体の収支改善計画の策定（R 元） →産振アドバイザー制度の活用 ・コロナの影響を踏まえた収支改善計画の見直しと対応策の検討及び収支改善に向けた取り組みの実施（R2～4） →産振アドバイザー制度の活用	・商談会への出展等による加工部門の売上高増 R2：49,804 千円 →R4：75,767 千円 【課題】 ・公社の組織体制及び経営状況の改善
加工施設の高度化による販路拡大	・土佐山ジンジャーエールの開発・製造（H23～） ・四方竹加工工場稼働開始（H26） ・スイーツ加工施設整備・稼働開始（H28）→産振補助金の活用 ・県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得（H30:清涼飲料水製造） ・自動液体充填機及び自動ラベル貼り機の導入（R2） →新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 ・生産性向上及び衛生管理の高度化に向けた施設整備（R5） →産振補助金の活用	・生産農家の所得向上及び担い手の確保 ・販路拡大 ・営業力の強化

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
販売額	2.03 億円 (R4)				2.45 億円

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
生産農家への栽培技術の普及 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・有機農業についての技術指導（公社→連携農家） ・優良母樹からのユズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給 ・新規作物の試験栽培 □県(農業改良普及所) ・栽培に関する技術指導 有機農産物の生産拡大 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・公社ほ場及び遊休地、耕作放棄地の活用 ・ショウガ輪作によるほ場の効率活用 ・庭先農家への営農指導					
					
					
経営安定化に向けた事業計画の実行 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・経営安定化に向けた事業計画及び雇用計画の実行 ・経営アドバイザーによる実務支援 ・外部専門家による経営評価及びアドバイス ・課題解決に向けた新規プロジェクト組成及び実施 □県(地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供					
					
加工品の安定生産、新商品の開発・製造 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・HACCP に沿った衛生管理への対応 ・新商品の開発・製造 □県(地域本部等) ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用の提案 ターゲットを見据えた販路開拓 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・各種展示商談会やイベントへの出展 ・EC 販売の促進 □県(地域本部等) ・県外商談会等の情報提供 ・産振アドバイザー制度の活用の提案					
					

修正後

高知市地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.3 有機農産物による土佐山地域の振興 (高知市)		
実施主体	◎(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家		
AP への位置づけ	H21.4月		
事業概要	土佐山を今後 100 年にわたり豊かに継続させる「土佐山百年構想」に基づき、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機野菜などの生産と販売及び加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の振興を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大	・栽培技術の確立・普及活動（H21～） ・加工品の開発・販売（H21～） ・ショウガの有機 JAS 認証取得（H21） ・有機農産物、農薬を使用しない農産物（ユズ・ショウガ・ジャガイモ等）の生産販売（H21～） ・肥料を製造する土づくりセンターの増強整備（H24）	【成果】 ・土づくり部門の売上高増 R2：13,942 千円 →R4：14,899 千円 ・雇用の創出 H20:11 人 （正規 3 人、パート 8 人） →R4：39 人 （正規 13 人、パート 21 人、短期雇用 5 人）
農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化	・庭先集荷による集荷販売（H21～） ・中山間農業複合経営拠点事業戦略の策定（H29） ・アグリ事業戦略サポートセンターによる実行フォロー（R 元） ・公社全体の収支改善計画の策定（R 元） →産振アドバイザー制度の活用 ・コロナの影響を踏まえた収支改善計画の見直しと対応策の検討及び収支改善に向けた取り組みの実施（R2～4） →産振アドバイザー制度の活用	・商談会への出展等による加工部門の売上高増 R2：49,804 千円 →R4：75,767 千円 【課題】 ・公社の組織体制及び経営状況の改善
加工施設の高度化による販路拡大	・土佐山ジンジャーエールの開発・製造（H23～） ・四方竹加工工場稼働開始（H26） ・スイーツ加工施設整備・稼働開始（H28）→産振補助金の活用 ・県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得（H30:清涼飲料水製造） ・自動液体充填機及び自動ラベル貼り機の導入（R2） →新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 ・生産性向上及び衛生管理の高度化に向けた施設整備（R5） →産振補助金の活用	・生産農家の所得向上及び担い手の確保 ・販路拡大 ・営業力の強化

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
販売額	2.03 億円 (R4)				2.45 億円

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
生産農家への栽培技術の普及 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・有機農業についての技術指導（公社→連携農家） ・優良母樹からのユズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給 ・新規作物の試験栽培 □県(農業改良普及所) ・栽培に関する技術指導 有機農産物の生産拡大 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・公社ほ場及び遊休地、耕作放棄地の活用 ・ショウガ輪作によるほ場の効率活用 ・庭先農家への営農指導					
経営安定化に向けた事業計画の実行 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・経営安定化に向けた事業計画及び雇用計画の実行 ・経営アドバイザーによる実務支援 ・外部専門家による経営評価及びアドバイス ・課題解決に向けた新規プロジェクト組成及び実施 □県(地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供					
加工品の安定生産、新商品の開発・製造 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・HACCP に沿った衛生管理への対応 ・新商品の開発・製造 □県(地域本部等) ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用の提案 ターゲットを見据えた販路開拓 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・各種展示商談会やイベントへの出展 ・EC 販売の促進 □県(地域本部等) ・県外商談会等の情報提供 ・産振アドバイザー制度の活用の提案					

修正前

高知市地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.5 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市)		
実施主体	◎JA 高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)、◎加工組織なるクラブ		
AP への位置づけ	H24. 4 月		
事業概要	JA 高知市の直販所「真心ふぁーむらぶ」では、地域の農産物に加え、加工組織「なるクラブ」が地域農産物を加工した惣菜を販売している。 加工品製造や商品開発などによる地産地消を推進する。地域住民の農業への関心を高め、地域農産物の消費拡大と田舎寿司などの伝統食の伝承を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大	・店舗改善（H24～25）→産振アドバイザー制度の活用 ・農家レストラン開催（H24～） ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・運営体制の見直しとレイアウト改善の提案（R2～R3） →直販所事業戦略策定アドバイザーの活用 ・商品 PR のための POP 掲示（R4） ・直販所経営力向上セミナー受講（R4～R5） ・他直販所との商品交流（R4～）	【成果】 ・真心ふぁーむらぶ販売額 H27：7,460.9 万円 →R5(見込)： 9,300 万円 ・なるクラブが、地産地消等優良活動表彰において中四国農政局長賞を受賞（H29） ・なるクラブ販売額 H27：2,513.6 万円 →R5(見込)： 3,500 万円
加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実	・新メニュー開発（H29）→産振アドバイザー制度の活用 ・チーム会による POS 分析に基づく製造計画策定（H26～） ・土佐の料理传承人に選定（H30） ・経営分析、運営体制の見直し、新メニューの試作（R2～） →6 次産業化サポートセンター事業の活用 ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・とさのさとへの出荷開始（R2～） ・新メニュー追加（R4） ・食品表示研修（R4） ・商品のメニュー見直し（R5）	【課題】 ・レイアウトの改善 ・新商品の開発と商品の付加価値向上 ・消費者ニーズに合ったサービスの充実 ・他の直販所との連携による商品の充実 ・既存商品の見直しと重点化による収益性の向上 ・販売及び加工部門の人手不足

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	9,064 万円 (R4)				9,500 万円

※暦年

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
顧客サービスの充実 ■直販所真心ふぁーむらぶ ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善 ・会員要件の拡大による商品ラインナップの充実 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供 他の直販所との連携 ■直販所真心ふぁーむらぶ ・他直販店との連携による商品の確保及び充実 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供		運営体制見直し、 会員要件の拡大	レイアウト改善	
新商品の開発及び販売 ■加工組織なるクラブ ・消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の開発 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用 の提案 運営体制の見直しによる収益性の向上 ■加工組織なるクラブ ・売上げ実績に基づく、製造計画及び人員体制の見直し ・既存商品の効率化にむけた見直し・検討 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・POS 分析支援 ・支援制度に関する情報提供、チーム会での助言		既存商品 の見直し	既存商品の効率化に 向けた検討	

修正後

高知市地域アクションプラン

	分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.5 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市)	
実施主体	◎JA 高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)、◎加工組織なるクラブ	
AP への位置づけ	H24. 4 月	
事業概要	JA 高知市の直販所「真心ふぁーむらぶ」において、地域の農産物に加え、加工組織「なるクラブ」が開発・製造した商品を販売することで、地産地消を推進する。 また、商品開発や地域住民の農業への関心を高める取り組みにより、地域農産物の消費拡大と田舎寿司などの伝統食の伝承を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大	・店舗改善（H24～25）→産振アドバイザー制度の活用 ・農家レストラン開催（H24～） ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・運営体制の見直しとレイアウト改善の提案（R2～R3） →直販所事業戦略策定アドバイザーの活用 ・商品 PR のための POP 掲示（R4） ・直販所経営力向上セミナー受講（R4～R5） ・他直販所との商品交流（R4～）	【成果】 ・真心ふぁーむらぶ販売額 H27：7,460.9 万円 →R5(見込)： 9,300 万円 ・なるクラブが、地産地消等優良活動表彰において中四国農政局長賞を受賞（H29） ・なるクラブ販売額 H27：2,513.6 万円 →R5(見込)： 3,500 万円
加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実	・新メニュー開発（H29）→産振アドバイザー制度の活用 ・チーム会による POS 分析に基づく製造計画策定（H26～） ・土佐の料理传承人に選定（H30） ・経営分析、運営体制の見直し、新メニューの試作（R2～） →6 次産業化サポートセンター事業の活用 ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・とさのさとへの出荷開始（R2～） ・新メニュー追加（R4） ・食品表示研修（R4） ・商品のメニュー見直し（R5）	【課題】 ・レイアウトの改善 ・新商品の開発と商品の付加価値向上 ・消費者ニーズに合ったサービスの充実 ・他の直販所との連携による商品の充実 ・既存商品の見直しと重点化による収益性の向上 ・販売及び加工部門の人手不足

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	9,064 万円 (R4)				1 億円

※暦年

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
顧客サービスの充実 ■直販所真心ふぁーむらぶ ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善 ・会員要件の拡大による商品ラインナップの充実 ・高単価の加工品（スイーツ等）のラインナップの充実 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供 他の直販所との連携 ■直販所真心ふぁーむらぶ ・他直販店との連携による商品の確保及び充実 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供		運営体制見直し、 会員要件の拡大	レイアウト改善		
新商品の開発及び販売 ■加工組織なるクラブ ・消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の開発 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用 の提案 運営体制の見直しによる収益性の向上 ■加工組織なるクラブ ・売上げ実績に基づく、製造計画及び人員体制の見直し ・既存商品の効率化に向けた見直し・検討 ・物価上昇に対応した販売価格の改定 □県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・POS 分析支援 ・支援制度に関する情報提供、チーム会での助言		既存商品 の見直し	既存商品の効率化に 向けた検討		